

キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

2単位(必修)1年(後期)

中山信太郎・教授/総合理数学科, 平井松午・教授/社会創生学科

【授業目的】 将来の社会的・職業的自立を目指し、キャリアプラン、ライフプランに対する基本的な視点・展望を持つために必要な素養と社会的能力を養う。キャリア体験講座や適性把握演習を通じて自らの立ち位置ならびに適性を把握するとともに、学部・学科の教育理念を理解し基礎学力を養成するための準備を行う。

【授業概要】 前半のキャリアプランニング部分は、学部合同で講義される。キャリア体験講座を通じて学生個々に自らの職業観について考える。必要に応じてレポートが課せられる。次いで適性検査にもとづき、自らの適性を性格、言語、係数、総合の観点から診断・把握する。それらをもとに自らキャリアプランを作成する。さらにコンピテンシー(企業等で要求される能力・行動特性)について学ぶとともに、各自が必要なコンピテンシー項目を選定し、Web版キャリア学習ポートフォリオに登録する。後半部分は、小クラスに分かれ、ゼミナール形式で遂行される。将来の自立のために大学での学業面での充実を目指し、学科の理念を理解し、自らの社会力・基礎学力を養成するために何をすべきかを学ぶ。

【キーワード】 テーマの設定, 質問力, プレゼンテーション力, コミュニケーション力

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 出席は必須である。さらに、出席しているだけでは意味がない。積極的に発言し、議論をすることが重要である。また、議論と口ゲンカとは大いに異なることをよく認識すること。

【到達目標】 誰もが将来、社会的・職業的自立をしなければならないことを認識し、そのための行動を始める。

【授業計画】

1. キャリアプラン体験講座(1. 考え方)
2. キャリアプラン体験講座(2. 事例紹介)
3. 適性把握演習(性格・言語)
4. 適性把握演習(計数・総合)
5. 自らのキャリアプラン・ライフプランを考える。
6. 各業種・職種のコンピテンシー
7. Web版ポートフォリオの設定
8. 就職と仕事:どちらも動機付けが大事

9. 自分さがしとキャリアプラン

10. 先輩の仕事観を読んで

11. 先輩の仕事観から学ぶ

12. 総合科学部で学べること

13. キャリアプラン作成

14. プレゼンテーションの事前指導

15. 最終報告会(プレゼンテーションによる)

16. 総括

【成績評価】 前半7回は、出席や(レポートの提出状況など)受講態度による。また、Web版キャリア学習ポートフォリオへの報告内容やキャリアプランのプレゼンテーションについても成績評価の対象となる。

【再試験】 出席点不足の場合は再評価なし。報告および中間報告、最終報告が不足の場合は再度提出または発表していただく。

【教科書】 随時指示する。

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218529>

【連絡先】

⇒ 中山(1N02, 0886567236, nakayama@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL(オフィスアワー: 月~金 17:30~18:00)

キャリアプラン入門Ⅱ(基礎ゼミナールⅡ)

2 units (compulsory) 1st-year(2nd semester)

Shintaro Nakayama · PROFESSOR / DEPARTMENT OF MATHEMATICAL AND MATERIAL SCIENCES, Shogo Hirai · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 将来の社会的・職業的自立を目指し、キャリアプラン、ライフプランに対する基本的な視点・展望を持つために必要な素養と社会的能力を養う。キャリア体験講座や適性把握演習を通じて自らの立ち位置ならびに適性を把握するとともに、学部・学科の教育理念を理解し基礎学力を養成するための準備を行う。

Outline) 前半のキャリアプランニング部分は、学部合同で講義される。キャリア体験講座を通じて学生個々に自らの職業観について考える。必要に応じてレポートが課せられる。次いで適性検査にもとづき、自らの適性を性格、言語、係数、総合の観点から診断・把握する。それらをもとに自らキャリアプランを作成する。さらにコンピテンシー(企業等で要求される能力・行動特性)について学ぶとともに、各自が必要なコンピテンシー項目を選定し、Web版キャリア学習ポートフォリオに登録する。後半部分は、小クラスに分かれ、ゼミナール形式で遂行される。将来の自立のために大学での学業面での充実を目指し、学科の理念を理解し、自らの社会力・基礎学力を養成するために何をすべきかを学ぶ。

Keyword) テーマの設定, 質問力, プレゼンテーション力, コミュニケーション力

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 出席は必須である。さらに、出席しているだけでは意味がない。積極的に発言し、議論をすることが重要である。また、議論とロゲンカとは大いに異なることをよく認識すること。

Goal) 誰もが将来、社会的・職業的自立をしなければならないことを認識し、そのための行動を始める。

Schedule)

1. キャリアプラン体験講座(1. 考え方)
2. キャリアプラン体験講座(2. 事例紹介)
3. 適性把握演習(性格・言語)
4. 適性把握演習(計数・総合)
5. 自らのキャリアプラン・ライフプランを考える。
6. 各業種・職種のコンピテンシー
7. Web版ポートフォリオの設定
8. 就職と仕事:どちらも動機付けが大事
9. 自分さがしとキャリアプラン

10. 先輩の仕事観を読んで

11. 先輩の仕事観から学ぶ

12. 総合科学部で学べること

13. キャリアプラン作成

14. プレゼンテーションの事前指導

15. 最終報告会(プレゼンテーションによる)

16. 総括

Evaluation Criteria) 前半7回は、出席や(レポートの提出状況など)受講態度による。また、Web版キャリア学習ポートフォリオへの報告内容やキャリアプランのプレゼンテーションについても成績評価の対象となる。

Re-evaluation) 出席点不足の場合は再評価なし。報告および中間報告、最終報告が不足の場合は再度提出または発表していただく。

Textbook) 随時指示する。

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218529>

Contact)

⇒ Nakayama (1N02, +81-886567236, nakayama@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 月～金 17:30～18:00)